

□おおいたジオパーク推進学術研究論文等執筆要領

○調査研究レポート

I. 原稿

使用する言語は日本語、または英語とする。印刷用紙は A4 判を使用し、ワードプロセッサで作成する。

日本語の場合は 1 ページ 48 字×39 行で印字し、行間は 1 行分程度あけ、用紙の上下・左右に余白を十分とる。英語の場合は 12 ポイント、39 行で印字する。1 ページ目に表題、著者名、ランニングタイトルを、2 ページ目から摘要、キーワードを記入する。なお、原稿にはページ番号を入れること。

・ページ設定

用紙： A4

余白： 上 25mm, 下 20mm, 左 20mm, 20mm

基本フォント

12 ポイント

MS 明朝体 句読点はすべて ， 。（、。は不可）

頁数：原則 10 頁以内

* 表題・著者名

著者名の右肩に*¹, *² ……の記号をつけ、原稿の 1 ページ目の下部に所属とその所在地、論文責任者の連絡先(住所・Eメールアドレスなど)を明記する。なお、英文タイトルに用いる大文字は、タイトルの先頭と固有名詞の先頭のみとし、他は小文字を用いる。

II. ランニングタイトル (欄外表題)

1 ページ目の中段に表題と著者名のそれぞれについてランニングタイトルをいれる。ランニングタイトルは各ページの欄外に掲載する短い表題と著者名のことである。本文が日本語の場合には 30 字以内、英語の場合には 8 語以内とする。

III. 本文 (改ページ)

III-1.	本文は原稿のページを改めて書き始める。
III-2.	文章は現代かなづかい、常用漢字を用いる。ただし、固有名詞や慣用句はこの限りではない。
III-3.	句読点などは、 ， ， ・ : ; 「 」 () ーを用い、本文ではそれぞれ 1 字分を充てる。
III-4.	学名・人名・地名・(訳語が定着していない)術語などを除き、外国語綴りあるいはそのカタカナ表記は避ける。

Ⅲ-5.	生物の和名は初出時に原則として学名を併記する。
Ⅲ-6.	地名などの漢字で読み誤るおそれのあるものには、ふりがなをつける。
Ⅲ-7.	数量の単位は原則としてSI単位を用いる(例: m, kg, m/s ² , Hz, °C, mol)。その他の略号については慣例に従う(例: ¹⁴ C, 年 BP, yrs BP, cal BP, Ma, ka, Å, ca., vs., etc.)。
Ⅲ-8.	緯度・経度の表記は世界測地系(日本測地系 2000=Japanese Geodetic Datum 2000)を原則とする。特別に必要な場合には測地系を明示して使用する。
Ⅲ-9.	英語で原稿を執筆する場合には、適切な校閲をうけた原稿を投稿する。
Ⅲ-10.	次の字体はあらかじめ指定しておく。なお、章立てなどの見出しの太文字は、審査委員会で指定する。 i. 生物の学名などイタリック体で印刷される字体は、下線を引く。 ii. まぎらわしい文字は誤読防止の指示を鉛筆で記入する(例: l-エル, 1-イチ, l-アイ, α-アルファ, γ-ガンマ, w-小文字, W-大文字) iii. 数式の場合は、特に上ツキ, 下ツキ, および大文字・小文字・イタリック体などの指定をする。
Ⅲ-11.	脚注は原則として認めない。ただし、やむを得ず脚注をつける場合には、その箇所に通し番号で ¹⁾ , ²⁾ …の記号をつけ、別紙にまとめて書く。
Ⅲ-12.	原稿には行番号をつける。

IV. 図

IV-1.	図にはそれぞれ図1, 図2, Fig. 1, Fig. 2のように番号をつける。また、本文の右側に挿入希望位置を記入する。 基本フォントはMSゴシック 10ポイント
IV-2.	図はインクで明瞭に書かれたものか、これと同程度のもので、そのまま写真製版が可能なものに限る。
IV-3.	原図の大きさはA4判大とする。小さい図(表)の場合でもA4判大の用紙に書くか、貼る。図には著者名と図番号を明記する。
IV-4.	図の内容の大きさを示す場合には、図にスケールを入れる。
IV-5.	図の縮小率は審査委員会で決定するが、希望縮小率(実際に縮小して確認のこと)を鉛筆で添え書きできる。一般には1ページ幅(14.5×20.0cm)またはその半幅(7.0cm)に縮小することが多いので、縮小後にも明瞭に見えるように線の太さ、文字の大きさに注意する。また、空白部分とキャプションの量のバランスにも注意する。コンピュータで作図する際には、複雑な模様の使用は避ける。特にグラデーションは、印刷時に意図どおりに出るとは限らないので極力避ける。
IV-6.	地図を使用する場合には、必ず方位を示す記号と縮尺を示すスケールを入れる。方位を示す場合は、真北と磁北のいずれかの区別が明らかな記号とする。
IV-7.	凡例はその説明とともにできるだけ図中に入れる。
IV-8.	受理後の最終原稿の図は電子ファイルでも提出できるが、印刷したものを必ず添付する。

V. 表

V-1.	表には、表1, 表2, Table 1, Table 2のように番号を付ける。本文右側に挿入希望位置を記入する。
------	--

V-2.	表は、縦・横の罫線による枠組みの中に文字や記号を記入したものに限り、罫線間の長さに意味がある場合や曲線を含むもの、枠の中に図が書かれたものは「図」扱いとなる。表はそのまま写真製版が可能なものに限る。
V-3.	表のキャプションは表の意味を簡潔に表すだけのものとする。凡例等の説明は表の下に入れ、表と一体のものにする。 表タイトルのみの横線のみ1ポイントケイ、その他はすべて0.25ポイントケイ 表内の文字はMSゴシック 9ポイント
V-4.	受理後の最終原稿の表は電子ファイルでも提出できるが、印刷したものを必ず添付する。

VI. 図版

VI-1.	図版は、図版として示すべき十分な理由があり、かつ原図が鮮明なものに限る。
VI-2.	図版は1ページごとに図版 I, 図版 II, Plate I, Plate II のように番号をつける。
VI-3.	横と縦の印刷サイズは 14.5×20cm となるから、できるだけこの比率になるように写真原稿を白い台紙に貼る。図版の内容の大きさを示すスケールを入れる。
VI-4.	受理後に提出する最終原稿の図版は電子ファイルでも提出できるが、印刷したものを必ず添付する。

VII. カラー図・カラー図版

審査委員会でカラー図・カラー図版を認めることがある。著者はその旨を応募時に申し出ることとする。

VIII. キャプション(図表などの表題や説明文)

別紙にまとめて書く。日本語論文の場合でも日本語のほかに英語キャプションをつけることができる。

IX. 引用

IX-1.	文中の引用は次の例にならう。 これらの研究(○・△, 1950; ◇, 1975; ◇ほか, 1977)によると.....と という結論が得られている(Cox and Dalrymple, 1967). ○○(1951a, b), △△(1974)の研究によれば.....と Miller(1970:p. 25-26) は述べている。
IX-2.	卒業論文・修士論文は原則として引用しない。
IX-3.	応募中であっても他学会等で受理されていない論文は引用しない。
IX-4.	ホームページの引用は原則として公的機関等が運用するものからのみとし、URL と、表題、参照した日付を引用文献に明記する。

X. 参考文献

「おおいたジオパーク推進学術研究論文執筆要領 学術研究論文」の「X I. 引用文献」を参考に簡潔にまとめること。